

各交通モードの年度別輸送実績

九州運輸局
令和7年9月24日

運輸と観光で九州の元気を創ります

＜お問い合わせ先＞
九州運輸局交通政策部交通企画課
井上、野中
電話：092-472-2315
国土交通省九州運輸局HP

<https://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>



九州運輸局

九州運輸局管内の輸送実績の動向（令和6年度）

- 令和6年度の輸送実績は、バス・タクシー・主要離島航路（旅客）ではコロナ禍前の水準に及んでいないものの、全体としては令和5年度に引き続きおおむね回復傾向となった。
- 陸上交通では、鉄軌道（全体）はコロナ禍以降回復を続け、令和元年度を初めて上回った。一般乗合バス・タクシーは8割に届いておらず低い水準に留まっている一方、貸切バスは令和元年度比約85%となっており、前年度からの増加率も高くなっている（令和5年度約114.8%、令和6年度約125.7%）。
- 海上交通では、主要離島航路の自動車航走は前年度実績を若干下回ったものの、その他のモードにおいてはコロナ禍以降回復を続けている。特に長距離フェリー航路は前年度に続きコロナ禍前よりも高い水準で推移している。

バス事業（一般乗合バス）

3.36億人

(R5年度比:100.2%)
(R1年度比: 78.0%)

タクシー事業

1.06億人

(R5年度比:96.5%)
(R1年度比: 71.2%)

鉄軌道事業（全体）

6.90億人

(R5年度比:105.0%)
(R1年度比: 101.0%)

鉄軌道事業（JR九州）

3.32億人

(R5年度比:104.1%)
(R1年度比: 98.3%)

長距離フェリー航路（旅客、自動車）

182.6万人、140.1万台

(R5年度比:106.9%、104.8%)
(R1年度比:116.3%、117.0%)

主要離島航路（旅客、自動車）

288.6万人、26.3万台

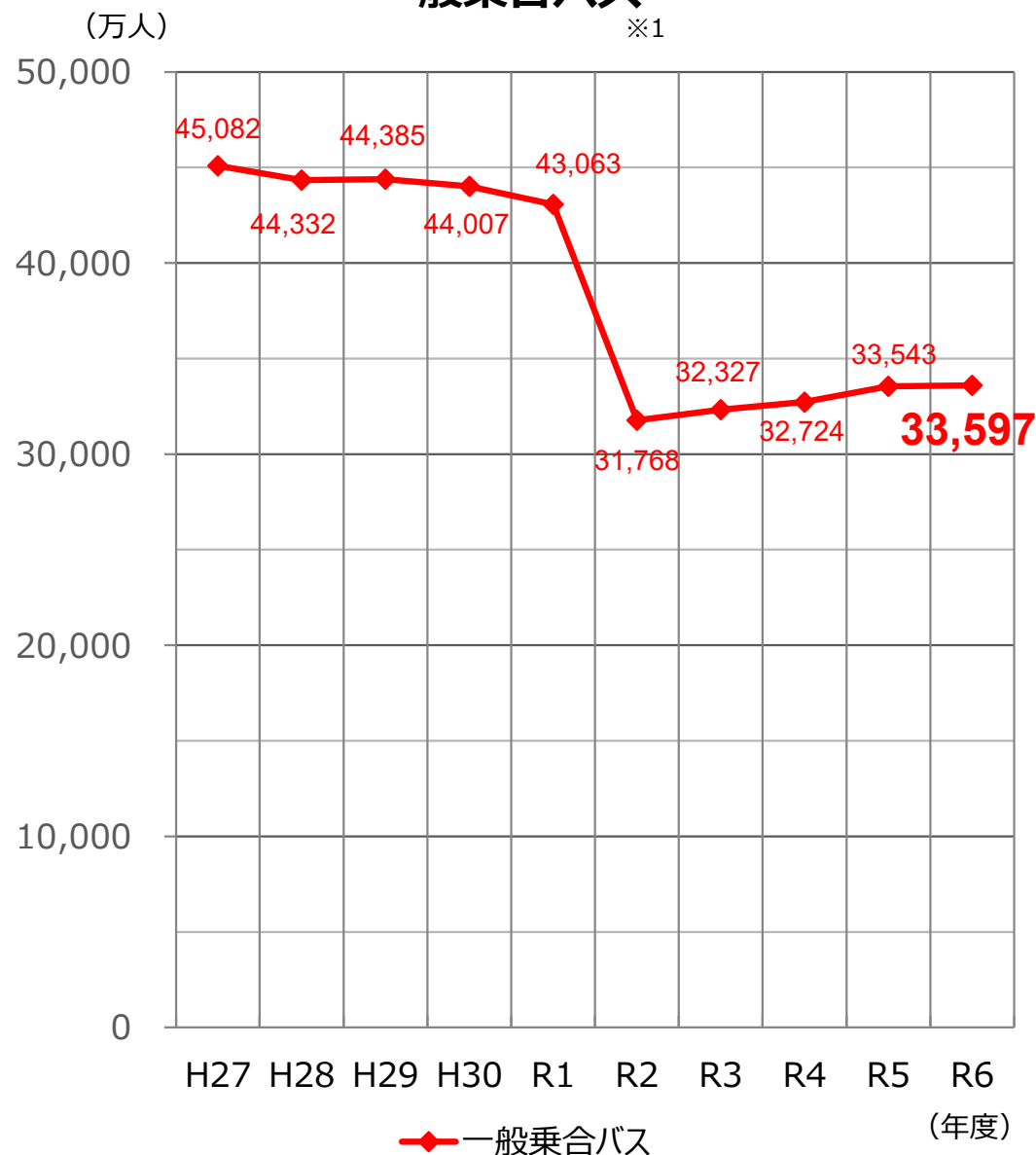
(R5年度比:101.5%、99.7%)
(R1年度比: 88.4%、103.6%)

対外旅客定期航路（旅客のみ）

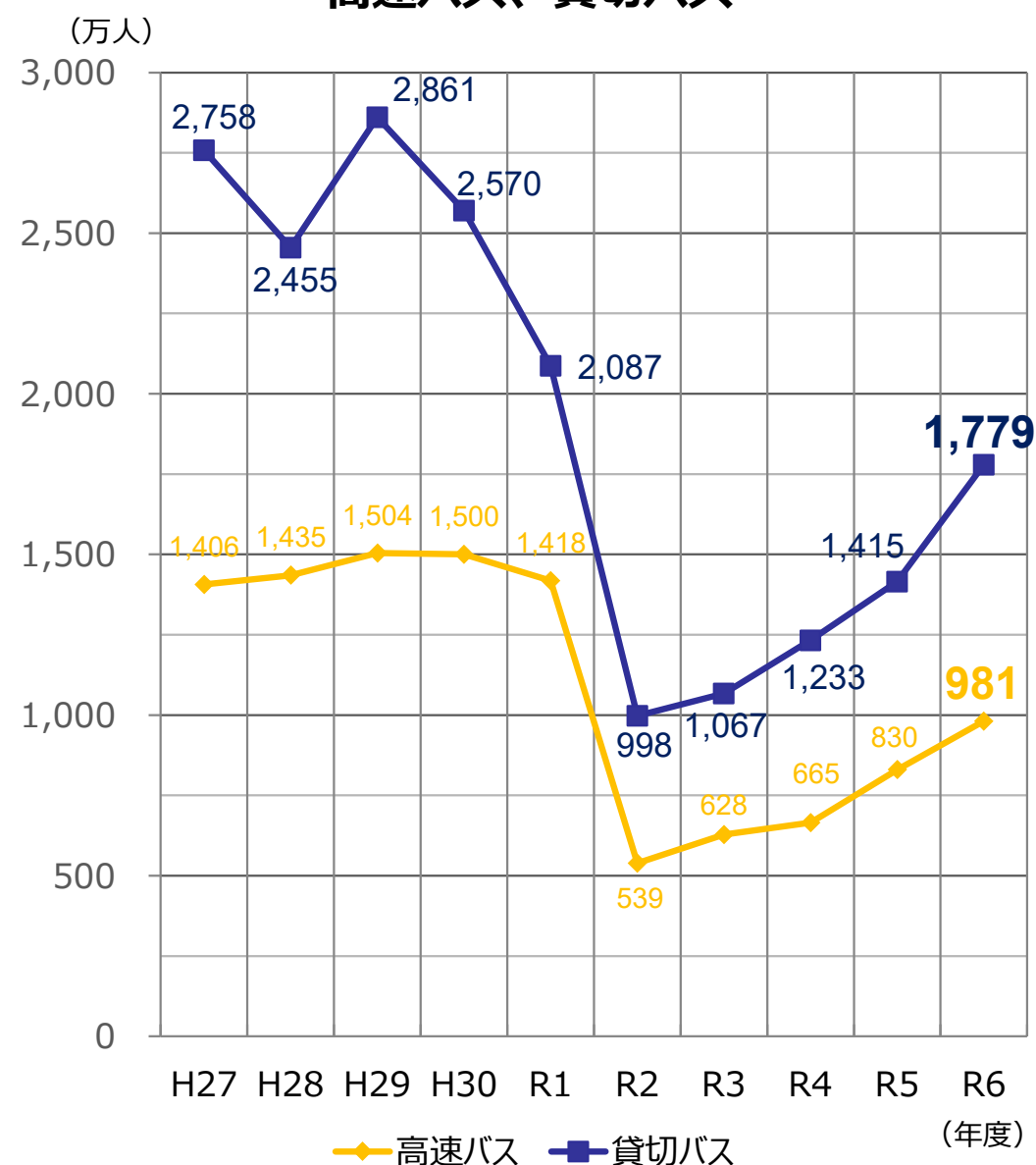
78.4万人

(R5年度比:106.8%)
(R1年度比: 136.6%)

一般乗合バス

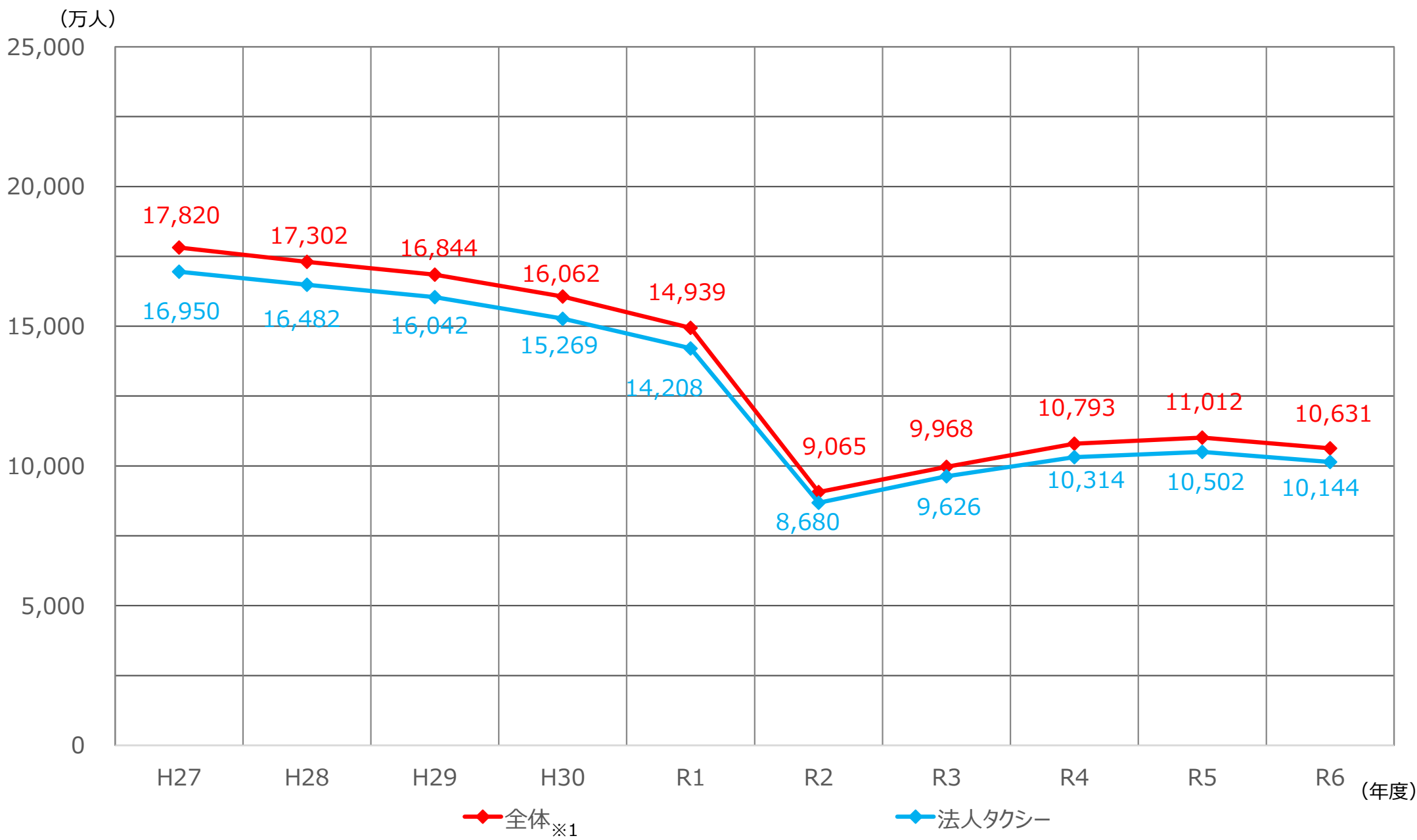


高速バス、貸切バス



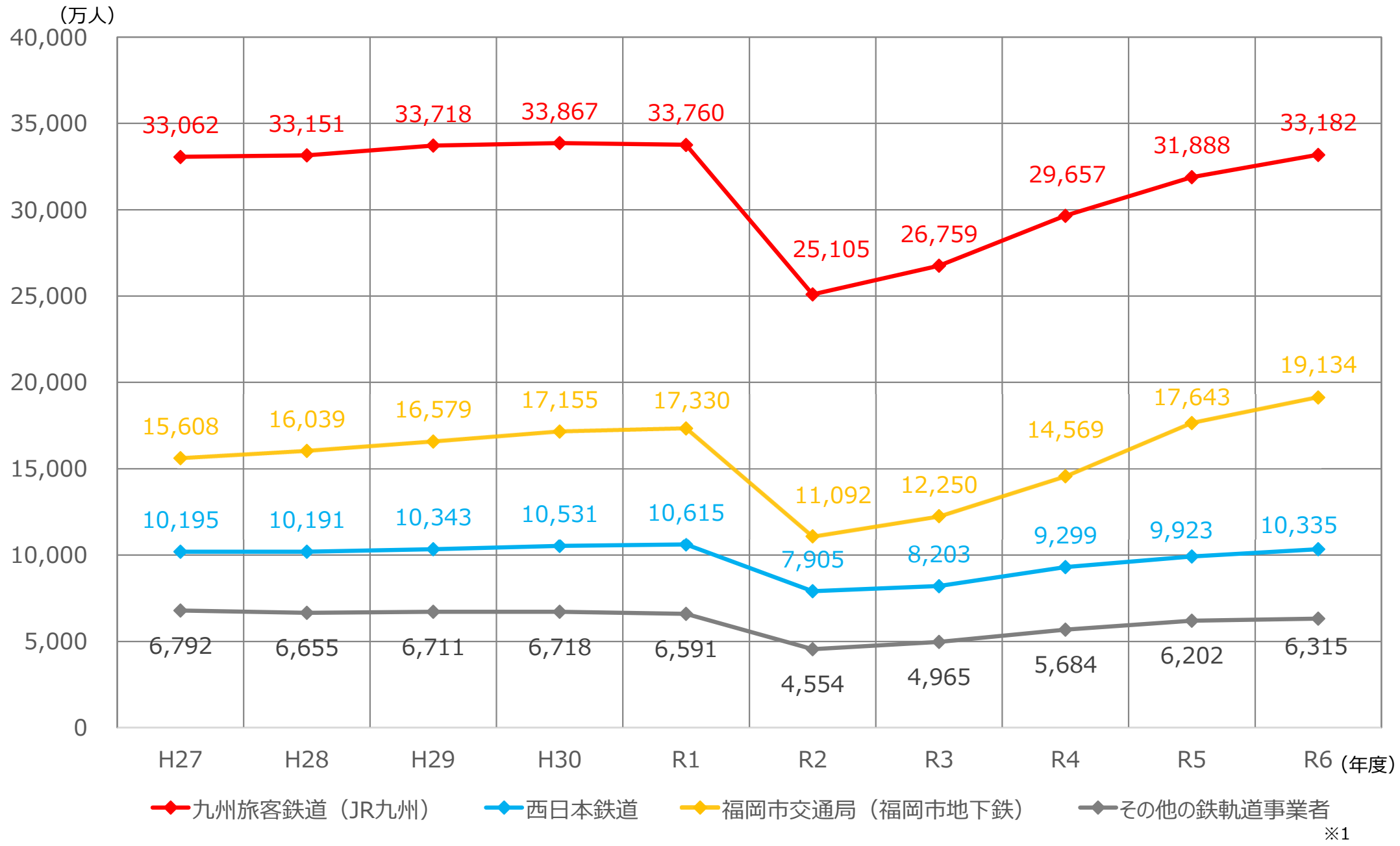
※1 「一般乗合バス」とは、路線バスのうち、高速バス（高速道路を利用して、概ね50km以上走行するもの）を除いたもの。

※2 R6年度の輸送実績は一般乗合バス、高速バス、貸切バスともに速報値。



※1 「全体」には、法人タクシーの輸送実績のほか、いわゆる「個人タクシー」の輸送実績を含む。

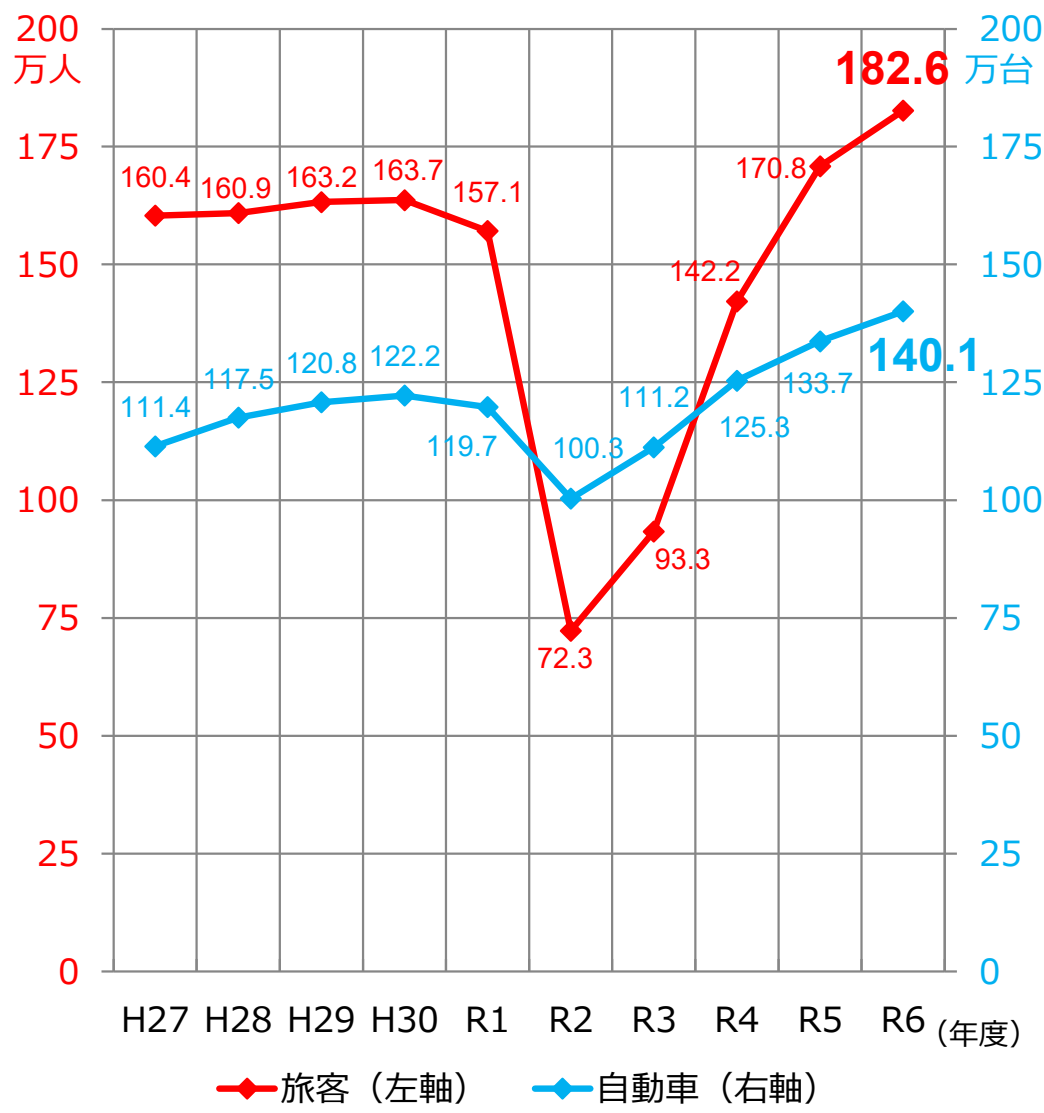
九州の鉄軌道事業の輸送実績



※1 「その他の鉄軌道事業者」とは、次の13社の合計値。(筑豊電気鉄道、島原鉄道、熊本電気鉄道、甘木鉄道、南阿蘇鉄道、松浦鉄道、平成筑豊鉄道、くま川鉄道、肥薩おれんじ鉄道、北九州高速鉄道、長崎電気軌道、熊本市交通局、鹿児島市交通局)

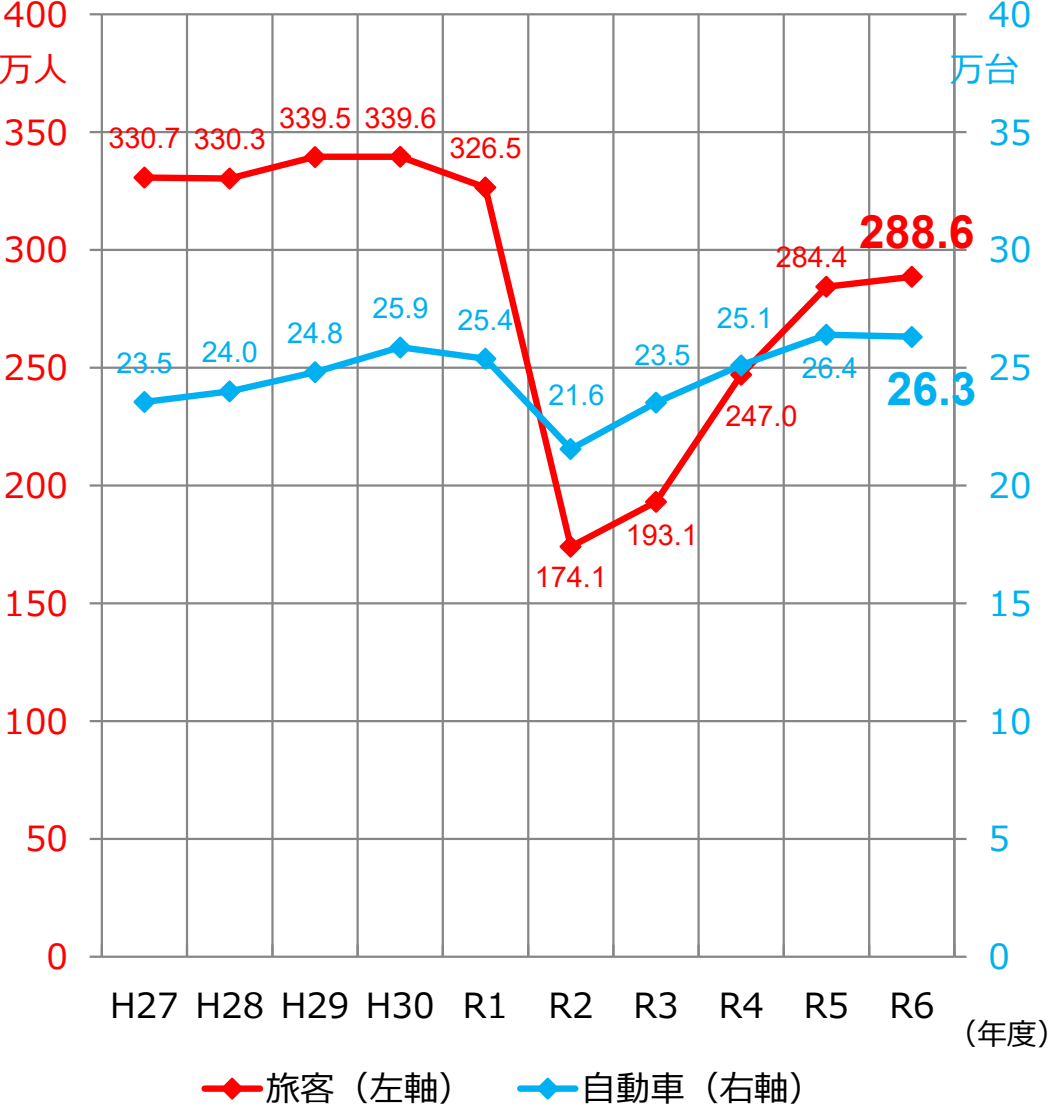
長距離フェリー航路

※1



主要離島航路

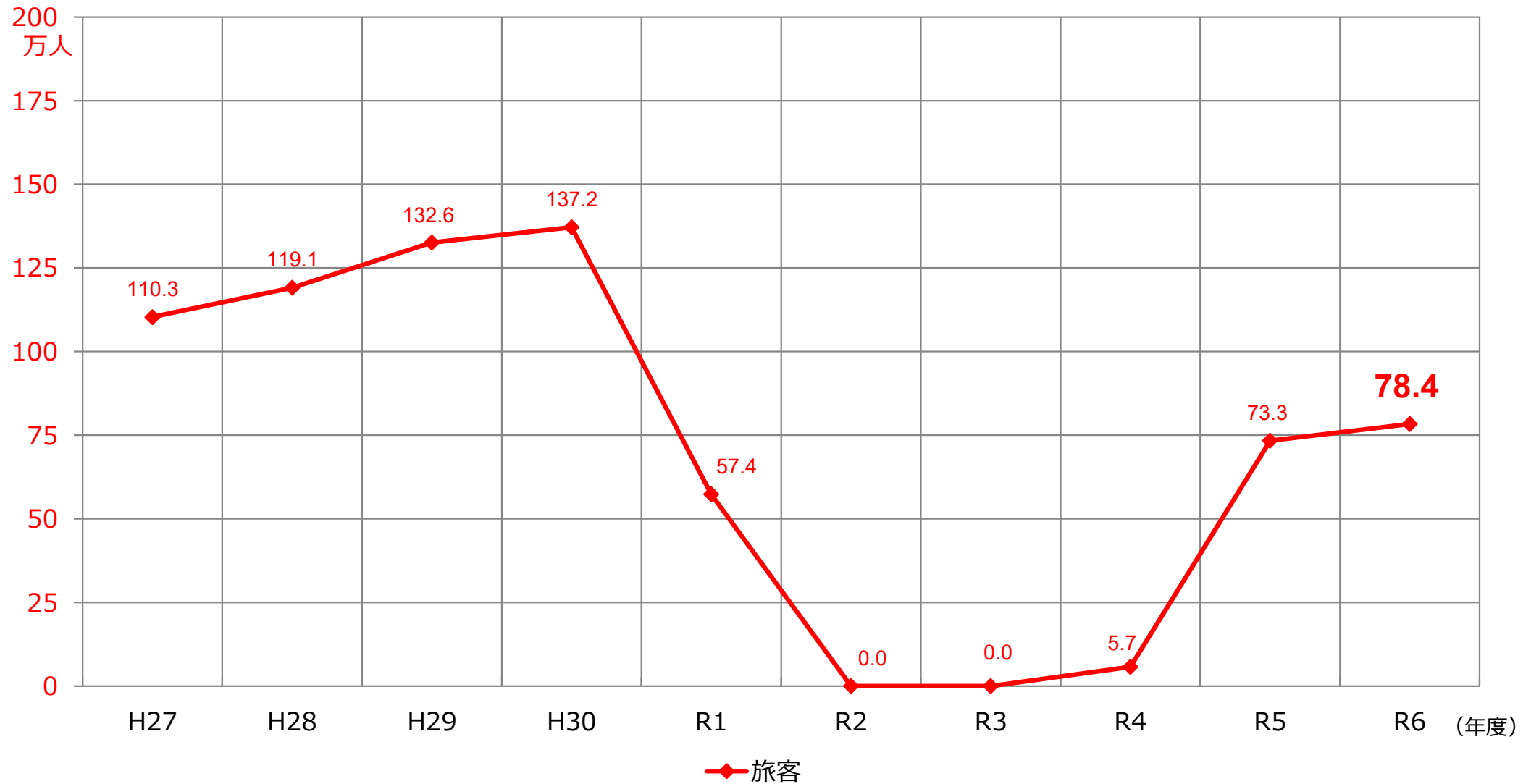
※2



※1 「長距離フェリー航路」とは、陸上輸送のバイパス的な旅客フェリーで片道の航路距離が300km以上の航路をいい、阪九フェリー、名門大洋フェリー、オーシャントランス、東京九州フェリー、フェリーさんふらわあ及び宮崎カーフェリーの6社9航路が該当。」

※2 「主要離島航路」とは、壱岐、対馬、五島列島、甕島、種子島、屋久島、奄美群島又は沖縄本島と本土を結ぶ航路をいい、12社16航路が該当。

対外旅客定期航路 ※1



※ 1 対外旅客定期航路とは博多～釜山、対馬～釜山、下関～釜山航路をいう。

※ 2 令和 2 年度及び令和 3 年度は運航実績なし。